

令和7年 年頭研修会

配信期間

令和7年1月6日（月）～21日（火）

※1月6日（月）9時00分から1月21日（火）16時30分までの期間

配信内容

○主催者あいさつ 中 勇二 八代市教育長



○共催者あいさつ 濱本 浩二 八代市PTA連絡協議会長

○研究部会発表 特別支援教育研究部会
郷土学習部会

○年頭講演 演題

すべての子どもをつつみこむ「特別」ではない支援教育
～ユニバーサルで・インクルーシブな教育・保育の実際～



講師 植草学園短期大学

教授 佐藤 慎二 氏

視聴方法については裏面をご覧ください

問合せ先

0965-33-6142

八代市教育サポートセンター

～子供の笑顔が未来を拓く～

主催：八代市教育委員会 共催：八代市PTA連絡協議会

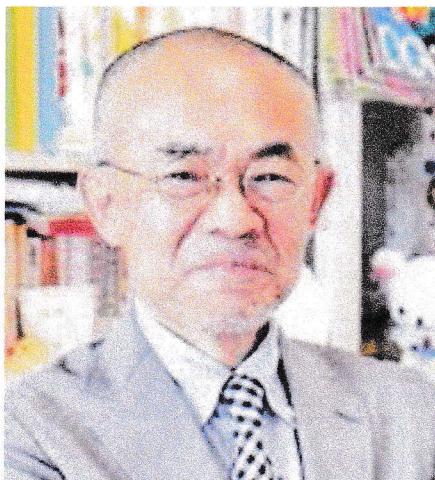
【視聴方法】

令和7年1月6日（月）9時00分から令和7年1月21日（火）16時30分の間、下記の視聴サイト用QRコードまたはURLリンクからご覧いただけます。

<p>主催者あいさつ 中 勇二 八代市教育長</p>  <p>https://youtu.be/w-PCGhE1gEI</p>	<p>共催者あいさつ 濱本 浩二 八代市PTA連絡協議会長</p>  <p>https://youtu.be/iCLFBfd0xcU</p>		
<p>特別支援教育研究部会 発表</p>			
<p>【動画】</p>  <p>https://youtu.be/VD3kFSpMQoo</p>	<p>【資料】</p>  <p>https://drive.google.com/file/d/12HEyTuqrN3LhzZkSI6eOIRMdqUmntob/view?usp=sharing</p>		
<p>郷土学習部会 発表</p>			
<p>【動画】</p>  <p>https://youtu.be/F-tkhd5sMFc</p>	<p>【資料】</p>  <p>https://drive.google.com/file/d/1ZfOO3i5CcewJAgzEGuq3_ONhNwsdn3uB/view?usp=sharing</p>	<p>【別紙資料（ダウンロードの仕方）】</p>  <p>https://drive.google.com/file/d/17P5EXdcV_DKlvtPo4RnZ8Wr-5SvyZiG0/view?usp=sharing</p>	
<p>年頭講演 「すべての子どもをつつみこむ「特別」ではない支援教育」 ～ユニバーサルで・インクルーシブな教育・保育の実際～ 講師 佐藤 慎二 氏</p>	<p>アンケート回答用サイト</p>		
<p>【動画】</p>  <p>https://youtu.be/W8c7GKOMqEI</p>	<p>【資料】</p>  <p>https://drive.google.com/file/d/14RH-1o6Lp79vodKBSAH0VKVN5kgpCymQ/view?usp=sharing</p>	<p>【教職員用】</p>  <p>https://forms.office.com/r/G5Bc0c632Q?origin=lprLink</p>	<p>【教職員以外用】</p>  <p>https://forms.office.com/r/RgSEC_A9V2r?origin=lprLink</p>

※資料は、視聴前にダウンロードまたは印刷をしていただきますようお願いします。

【講師紹介】



植草学園短期大学 教授

佐藤 慎二（さとう しんじ）氏

植草学園短期大学 教授。放送大学客員教授。

明治学院大学社会学部卒業、千葉大学教育学研究科修了。千葉県内の知的障害特別支援学校及び小学校情緒障害通級指導教室での23年間の勤務を経て現職。日本生活中心教育研究会会长、2021年度千葉県総合支援協議会療育支援専門部会座長ほか。特別支援教育士スーパーバイザー。

主な著書に、「通常学級の『特別』ではない支援教育－校内外支援体制・ユニバーサルデザイン・合理的配慮－」（東洋館出版、2022）「知的障害特別支援学校 子ども主体の授業づくりハンドブック」（東洋館出版社、2020）、「入門 自閉症・情緒障害特別支援学級－今日からできる！自立活動の授業づくり－」（東洋館出版、2019）、「逆転の発想で魔法のほめ方・叱り方－実践 通常学級ユニバーサルデザインIII－」（東洋館出版、2017）、「実践 通常学級ユニバーサルデザインI－学級づくりのポイントと問題行動への対応－」（東洋館出版、2014）など多数。Youtubeにおいても「簡単マジック・手遊びシアター」などで多くの講演動画をアップ。

「教育現場で出会う『気になる』子どもは、『困った』子どもではなく、何かに『困っている』子どもであり、『見方』を変えることによって『味方』になり、『支援』を変えることが大切」、「『気になる』子ども、発達障害がある子どもには『ないと困る』支援であり、どの子どもにも『あると便利で・役に立つ』ユニバーサルで、インクルーシブな教育を進めることが大切」といった信念をもたれ、大学で教鞭をとられる中、多数の講演活動をされている。